

# 会 議 録

1 会 議 名	令和4年度第1回太宰府市総合交通計画協議会
2 開催日時	令和4年10月12日（水）13：30～15：05
3 開催場所	太宰府市役所 4階大会議室
4 出席者名	大枝委員（会長）、中島委員、高木委員、草場委員、長委員、齋藤委員、松下委員、山口委員、楠田委員、八尋委員（副会長）、竹井委員、池上委員
5 議 題	<p><b>【議事】</b></p> <p>太宰府市総合交通計画の改訂について</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.総合交通計画協議会について</li> <li>2.総合交通計画について</li> <li>3.本市における検討状況について</li> <li>4.既存データによる現況把握</li> <li>5.調査・分析による現況把握</li> <li>6.既存データ、調査・分析による交通上の課題</li> <li>7.総合交通計画の基本方針</li> <li>8.今後の予定について</li> </ol>
6 内 容	
事務局	(開会挨拶)
	(市長より委嘱状交付)
楠田市長	本市におきましては、令和のご縁からコロナ禍となり、観光客が激減して渋滞状況に変化があった。一旦、論点整理するとともにコロナ禍も少しずつ収まりつつあり、観光客にもお越しいただくようになってきたことにより、改めて太宰府市の慢性的な渋滞に様々な対策を提示すべきと考えており、委員も拡大しオンライン参加によって遠方の委員にもご参加いただいている。住まう人も訪れる人も共に快適な環境づくりが重要な視点である。委員皆様方におかれましては、率直なご意見を賜りたい。
全員	(各自自己紹介)

事務局	(会長及び副会長選出) 太宰府市総合交通計画協議会規則第 5 条の規定に基づき、会長及び副会長を委員の互選により定める。立候補及び推薦はあるか。
全員	委員から立候補及び推薦なし。
事務局	事務局から提案したいがよろしいか。
全員	異議なし。
事務局	大枝委員に会長を、八尋委員に副会長をお願いしたい。
大枝会長	(会長席へ移動、挨拶) なるべく多くの意見を賜りながら議論を進めていきたい。委員皆様のご協力・ご支援をよろしくお願いしたい。
八尋副会長	(副会長席へ移動、挨拶) 以前からの難しい課題が多くある。会長を補佐しながら良い結論に至ることができるように努めていく。
事務局	これより議事に入る。太宰府市総合交通計画協議会規則第 6 条の規定により進行は大枝会長にお願いする。
大枝会長	本日の議題は太宰府市総合交通計画の改訂となる。これから審議を進めるが、本協議会は 2 年ぶりに開催されるということもあり、これまでの経緯の説明を受けながら、次回以降に我々がどういったことを協議していけばいいか議論できればと考えている。 まずはこれまでの経緯等について、事務局からの説明をお願いする。
事務局	(資料説明：目次 1～3)
大枝会長	ここまでの説明に対し、質問等はあるか。
全員	質問等なし。
大枝会長	本協議会は、当初策定した計画の改訂が目標となる。平成 29 年から改訂について検討を進めており、基本方針が固まってきたとのこと。平成 29 年から実施した調査でどのような課題がわかったのか、また当初策定した計画の目標が達成できたのかどうかを考えながら、検討を進めていた基本方針をもう一度見直していきたい。今日は、基本方針を固めていきたいと思っている。 これまでの調査等について、事務局からの説明をお願いする。

事務局	(資料説明：目次4. 5)
大枝会長	ここまでの説明に対し、質問等はあるか。
委員	<p>太宰府市は、学校が多く所在している。その学校の学生・生徒たちがどこにお住まいで、どのような手段で通学しているか把握してはどうか。スクールバスも多く走っていると思う。学校経営の視点からも公共交通の利用促進も重要。</p> <p>自転車活用の視点から、中学校や高校の通学路を把握しそこを繋ぐとネットワーク計画が策定でき、そこに観光道路も繋ぐと選択と集中が可能となる。</p>
大枝会長	学生の活動と交通行動を把握、通学路と観光道路を結び付けるのはいかがかということか。
委員	小中高大の学生・生徒の通学手段を把握すると、基本的に車に乗っていないため、そういった方々を大事にするといろんな施策の展開が期待できる。
事務局	<p>学生・生徒の交通行動の把握については、今後の交通施策の検討の際に参考とさせていただきます。</p> <p>通学路と観光道路のネットワーク化については、今後のご議論の中で委員皆様方からご意見いただきたい。</p>
大枝会長	<p>ここまでの説明で現況調査と交通状況について説明があった。これを踏まえて、今後の交通施策を考えるにあたっての基本方針を出していくことになる。委員からのご意見のように、学生の視点、通学路と観光道路の組み合わせについて考えていきたい。</p> <p>ほかにご意見等はないか。</p>
委員	ナンバープレート調査において、通過交通以外の車両で域内に滞在した車両が観光のための交通なのか、住民の交通なのか判別できているのか。
事務局	ナンバープレートしか情報がないため、住民の車両か調査できていない状況になる。調査した時間内に通過と滞在を判別した調査となる。
大枝会長	<p>太宰府天満宮に訪れる方がどれだけいらっしゃるのか、どれだけの方たちが滞在しているのかは非常に重要。その点も考えながら進めていく必要がある。</p> <p>ほかにご意見等はないか。</p>
委員	路線バスとコミュニティバスのアンケートについて、バスの利用頻度が記載してあるが、このデータは年代別や居住地域、職業等の分類で特性があるのではないかと。今後の少子高齢化も含めた施策の検討の切り口にもなると考えられる。

事務局	<p>このアンケートについては、地域公共交通計画策定のために実施した。本協議会の資料としては一部を掲載しており、データとして年代別や居住地域、職業等の分類はできている。ご意見の分析については、今後の交通施策の検討の際に参考とさせていただきます。</p>
大枝会長	<p>ほかにご意見等はないか。</p> <p>なければ、これまでの現況の報告があったが、どのような課題がでてきたか、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料説明：目次6～8)</p>
大枝会長	<p>課題と基本方針についての説明であったが、様々な課題があり、課題を集約して基本方針があげられている。この基本方針を本日決定したい。</p> <p>委員からのご意見でもあったが、太宰府市は学生も多いため若い方から高齢者の方のためにも安心安全の交通体系を構築していかなければならない。</p> <p>人口減少に伴い、都市を少し集約して機能を上げていく流れにもなっており、公共交通の充実も考えていく必要がある。様々な交通手段を適切に結び付けていき、それぞれのサービスを向上させるためにも交通結節点の機能を向上しながら進めていく必要となる。</p> <p>3つの基本方針について事務局から提案があっているが、今後はこの基本方針に沿って会議を進めてよろしいか。</p>
委員	<p>徒歩や自転車やセニアカーなどパーソナルモビリティを上手く活用しつつ、公共交通を使っていくことで住民が安心して生活でき、観光客にも親切。</p> <p>海外にも目を向けると、パリのように車に不便なまちづくりをしているところもある。太宰府天満宮といった素敵な財産があり、車も使いながら徒歩や自転車をベースに公共交通を使って車がなくても暮らせたり、観光もできるまちにしてはどうか。</p> <p>小中高大の学生や生徒には、車に乗り始める前に公共交通に乗ることを習慣としないと、車が便利なので交通事業者様が良いサービスを提供しても公共交通機関を使わなくなる。一生涯移動手段に困らない備えや人生設計、自らのライフスタイルを描いていく教育も必要。</p>
大枝会長	<p>これからの計画策定作業で取り入れていく必要のある貴重なご意見と感じている。</p> <p>渋滞をなくすためには車を使わないことが最も有効な手段。渋滞をなくすことは理想であるが、今後の課題であり検討が必要。渋滞が発生する場所に有料化して車を入れないなどの規制を施す方法があると考えているが、その考え方が正しいかどうか。委員のご意見のように車から公共交通機関への転換は非常に重要なポイント。</p> <p>高齢者の方の免許返納も推進していく必要がある。何か方法を考えないと、単に返納をお願いするだけでは進まない。</p> <p>ほかにご意見等はないか。</p>

委員	ソフト面で MaaS 等の活用も進めていってはいかがか。
事務局	MaaS の活用に関しては、地域公共交通活性化協議会にて公共交通のネットワークや地域の輸送資源の総動員について、ご議論いただくことになると考えている。
委員	デジタル活用という視点で取り入れてはどうか。
大枝会長	MaaS はバリエーションが豊かであるため、デジタル活用という視点を取り入れながらの検討で進めたい。 ほかにご意見等はないか。
全員	質問等なし。
大枝会長	なければ、この基本方針で今後進めていきたい。 進行を事務局へお返しする。
事務局	(閉会挨拶)